



## セッション管理用の API コールの使用方法

Cisco ISE セッション管理 API コールは、セッション関連の情報を取得するためにモニタリング ノードを使用します。次の項では、コールの各タイプを説明するほかに、出力スキーマ ファイルの例、各コール発行の手順、返されるデータのサンプル、および古いセッションの削除方法について説明します。

- 「セッション カウンタ API コール」 (P.2-1)
- 「セッション リスト API コール」 (P.2-5)
- 「Session Attribute API コール」 (P.2-10)
- 「古いセッションの削除」 (P.2-23)

### セッション カウンタ API コール

次の API コールによって、Cisco ISE 展開におけるターゲット モニタリング ノードのセッション関連情報の現在のカウントをすぐに収集できるようになります。

- ActiveCount : アクティブなセッション数をカウントします。
- PostureCount : ポスチャされたセッション数をカウントします。
- ProfilerCount : プロファイリングされたセッション数をカウントします。

### ActiveCount API コールの使用方法

アクティブなセッションの数を取得するために ActiveCount API コールを使用できます。ここでは、次の項目について説明します。

- 「ActiveCount API コールのスキーマ ファイル」 (P.2-1)
- 「ActiveCount API コールの呼び出し」 (P.2-2)
- 「ActiveCount API コール データ」 (P.2-2)

### ActiveCount API コールのスキーマ ファイル

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<xs:schema version="1.0" xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema">

  <xs:element name="sessionCount" type="activeCount"/>
  <xs:complexType name="activeCount">
    <xs:sequence>
```

```
<xs:element name="count" type="xs:int"/>
</xs:sequence>
</xs:complexType>
</xs:schema>
```

## ActiveCount API コールの呼び出し



**(注)** API コールを発行するターゲット ノードが、有効なモニタリング ノードであることを確認します。Cisco ISE ノードのペルソナを確認するには、「[モニタリング ノードの確認](#)」(P.1-2) を参照してください。

**ステップ 1** ターゲット モニタリング ノードにログインします。  
たとえば、ホスト名が `acme123` のモニタリング ノードに最初にログインすると、次の URL アドレス フィールドが表示されます。

```
https://acme123/admin/LoginAction.do#pageId=com_cisco_xmp_web_page_tmpdash
```

**ステップ 2** 「/admin/」 コンポーネントを API コールのコンポーネント (`/ise/mnt/Session/<specific-api-call>`) に置き換えて、ターゲット ノードの URL アドレス フィールドに ActiveCount API コールを入力します。

```
https://acme123/ise/mnt/Session/ActiveCount
```



**(注)** これらのコールは、大文字小文字を区別するため、ターゲット ノードの URL アドレス フィールドに慎重に各 API コールを入力する必要があります。API コール規則での「mnt」の使用は、ターゲット モニタリング ノードを表します。

**ステップ 3** Enter キーを押して API コールを発行します。

## ActiveCount API コール データ

This XML file does not appear to have any style information associated with it. The document tree is shown below.

```
-
<sessionCount>
<count>5</count>
</sessionCount>
```

## PostureCount API コールの使用方法

アクティブなポスチャ セッションの数を取得するために PostureCount API コールを使用できます。ここでは、次の項目について説明します。

- 「[PostureCount API コールのスキーマ ファイル](#)」(P.2-3)
- 「[PostureCount API コールの呼び出し](#)」(P.2-3)
- 「[PostureCount API コール データ](#)」(P.2-3)

## PostureCount API コールのスキーマ ファイル

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<xs:schema version="1.0" xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema">

  <xs:element name="sessionCount" type="postureCount"/>

  <xs:complexType name="postureCount">
    <xs:sequence>
      <xs:element name="count" type="xs:int"/>
    </xs:sequence>
  </xs:complexType>
</xs:schema>
```

## PostureCount API コールの呼び出し



**(注)** API コールを発行するターゲット ノードが、有効なモニタリング ノードであることを確認します。Cisco ISE ノードのペルソナを確認するには、「[モニタリング ノードの確認](#)」(P.1-2) を参照してください。

**ステップ 1** ターゲット モニタリング ノードにログインします。  
たとえば、ホスト名が `acme123` のモニタリング ノードに最初にログインすると、次の URL アドレス フィールドが表示されます。

```
https://acme123/admin/LoginAction.do#pageId=com_cisco_xmp_web_page_tmpdash
```

**ステップ 2** 「/admin/」 コンポーネントを API コールのコンポーネント (`/ise/mnt/Session/<specific-api-call>`) に置き換えて、ターゲット ノードの URL アドレス フィールドに PostureCount API コールを入力します。

```
https://acme123/ise/mnt/Session/PostureCount
```



**(注)** これらのコールは、大文字小文字を区別するため、ターゲット ノードの URL アドレス フィールドに慎重に各 API コールを入力する必要があります。API コール規則での「mnt」の使用は、ターゲット モニタリング ノードを表します。

**ステップ 3** Enter キーを押して API コールを発行します。

## PostureCount API コール データ

This XML file does not appear to have any style information associated with it. The document tree is shown below.

```
-
<sessionCount>
<count>3</count>
</sessionCount>
```

## ProfilerCount API コールの使用方法

アクティブなプロファイラ セッションの数を取得するために ProfilerCount API コールを使用できます。ここでは、次の項目について説明します。

- 「ProfilerCount API コールのスキーマ ファイル」 (P.2-4)
- 「ProfilerCount API コールの呼び出し」 (P.2-4)
- 「ProfilerCount API コール データ」 (P.2-5)

### ProfilerCount API コールのスキーマ ファイル

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<xs:schema version="1.0" xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema">

  <xs:element name="sessionCount" type="profilerCount"/>

  <xs:complexType name="profilerCount">
    <xs:sequence>
      <xs:element name="count" type="xs:int"/>
    </xs:sequence>
  </xs:complexType>
</xs:schema>
```

### ProfilerCount API コールの呼び出し



(注)

API コールを発行するターゲット ノードが、有効なモニタリング ノードであることを確認します。Cisco ISE ノードのペルソナを確認するには、「[モニタリング ノードの確認](#)」 (P.1-2) を参照してください。

#### ステップ 1

ターゲット モニタリング ノードにログインします。

たとえば、ホスト名が `acme123` のモニタリング ノードに最初にログインすると、次の URL アドレス フィールドが表示されます。

```
https://acme123/admin/LoginAction.do#pageId=com_cisco_xmp_web_page_tmpdash
```

#### ステップ 2

「/admin/」コンポーネントを API コールのコンポーネント (`/ise/mnt/Session/<specific-api-call>`) に置き換えて、ターゲット ノードの URL アドレス フィールドに ProfilerCount API コールを入力します。

```
https://acme123/ise/mnt/Session/ProfilerCount
```



(注)

これらのコールは、大文字小文字を区別するため、ターゲット ノードの URL アドレス フィールドに慎重に各 API コールを入力する必要があります。API コール規則での「mnt」の使用は、ターゲット モニタリング ノードを表します。

#### ステップ 3

Enter キーを押して API コールを発行します。

## ProfilerCount API コール データ

This XML file does not appear to have any style information associated with it. The document tree is shown below.

```
-
<sessionCount>
<count>1</count>
</sessionCount>
```

## セッション リスト API コール

次のセッション リスト API コールによって、Cisco ISE 展開におけるターゲット モニタリング ノードの現在のアクティブセッションに関連する MAC アドレス、ネットワーク アクセス デバイス (NAD) の IP アドレス、ユーザ名、セッション ID などのセッション関連の情報をすぐに収集できるようになります。

- **ActiveList** : アクティブなセッションをリストします
- **AuthList** : 認証済みセッションをリストします

## ActiveList API コールの使用方法

すべてのアクティブなセッションをリストするには **ActiveList** API コールを使用できます。ここでは、次の項目について説明します。

- 「[ActiveList API コールのスキーマ ファイル](#)」 (P.2-5)
- 「[ActiveList API コールの呼び出し](#)」 (P.2-6)
- 「[ActiveList API コール データ](#)」 (P.2-6)



(注) Cisco ISE のこのリリースでは、アクティブな認証済みエンドポイント セッションの表示可能な最大数は、100,000 です。

## ActiveList API コールのスキーマ ファイル

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<xs:schema version="1.0" xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema">

  <xs:element name="activeSessionList" type="simpleActiveSessionList"/>

<xs:complexType name="simpleActiveSessionList">
  <xs:sequence>
    <xs:element name="activeSession" type="simpleActiveSession" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute name="noOfActiveSession" type="xs:int" use="required"/>
</xs:complexType>

<xs:complexType name="simpleActiveSession">
  <xs:sequence>
    <xs:element name="user_name" type="xs:string" minOccurs="0"/>
    <xs:element name="calling_station_id" type="xs:string" minOccurs="0"/>
    <xs:element name="nas_ip_address" type="xs:string" minOccurs="0"/>
```

```

<xs:element name="acct_session_id" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="audit_session_id" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="server" type="xs:string" minOccurs="0"/>
</xs:sequence>
</xs:complexType>
</xs:schema>

```

## ActiveList API コールの呼び出し



**(注)** API コールを発行するターゲット ノードが、有効なモニタリング ノードであることを確認します。Cisco ISE ノードのペルソナを確認するには、「[モニタリング ノードの確認](#)」(P.1-2) を参照してください。

**ステップ 1** ターゲット モニタリング ノードにログインします。

たとえば、ホスト名が **acme123** のモニタリング ノードに最初にログインすると、次の URL アドレス フィールドが表示されます。

```
https://acme123/admin/LoginAction.do#pageId=com_cisco_xmp_web_page_tmpdash
```

**ステップ 2** 「/admin/」 コンポーネントを API コールのコンポーネント (/ise/mnt/Session/<specific-api-call>) に置き換えて、ターゲット ノードの URL アドレス フィールドに **ActiveList API** コールを入力します。

```
https://acme123/ise/mnt/Session/ActiveList
```



**(注)** これらのコールは、大文字小文字を区別するため、ターゲット ノードの URL アドレス フィールドに慎重に各 API コールを入力する必要があります。API コール規則での「mnt」の使用は、ターゲット モニタリング ノードを表します。

**ステップ 3** Enter キーを押して API コールを発行します。

## ActiveList API コール データ

This XML file does not appear to have any style information associated with it. The document tree is shown below.

```

-
<activeSessionList noOfActiveSession="5">
-
<activeSession>
<calling_station_id>00:0C:29:FA:EF:0A</calling_station_id>
<server>HAREESH-R6-1-PDP2</server>
</activeSession>
-
<activeSession>
<calling_station_id>70:5A:B6:68:F7:CC</calling_station_id>
<server>HAREESH-R6-1-PDP2</server>
</activeSession>
-
<activeSession>
<user_name>tom_wolfe</user_name>
<calling_station_id>00:14:BF:5A:0C:03</calling_station_id>
<nas_ip_address>10.203.107.161</nas_ip_address>

```

```

<acct_session_id>00000032</acct_session_id>
<server>HAREESH-R6-1-PDP2</server>
</activeSession>
-
<activeSession>
<user_name>graham_hancock</user_name>
<calling_station_id>00:50:56:8E:28:BD</calling_station_id>
<nas_ip_address>10.203.107.161</nas_ip_address>
<acct_session_id>0000002C</acct_session_id>
<audit_session_id>0ACB6BA1000002A165FD0C8</audit_session_id>
<server>HAREESH-R6-1-PDP2</server>
</activeSession>
-
<activeSession>
<user_name>ipepvpnuser</user_name>
<calling_station_id>172.23.130.89</calling_station_id>
<nas_ip_address>10.203.107.45</nas_ip_address>
<acct_session_id>A2000070</acct_session_id>
<server>HAREESH-R6-1-PDP2</server>
</activeSession>
</activeSessionList>

```

## AuthList API コールの使用方法

すべてのアクティブな認証セッションのリストを取得するために AuthList API コールを使用できます。ここでは、次の項目について説明します。

- 「AuthList API コールのスキーマ ファイル」 (P.2-7)
- 「AuthList API コールの呼び出し」 (P.2-8)
- 「AuthList API コール データ」 (P.2-8)



(注) Cisco ISE のこのリリースでは、アクティブな認証済みエンドポイント セッションの表示可能な最大数は、100,000 です。

## AuthList API コールのスキーマ ファイル

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<xs:schema version="1.0" xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema">

  <xs:element name="activeSessionList" type="simpleActiveSessionList"/>

  <xs:complexType name="simpleActiveSessionList">
    <xs:sequence>
      <xs:element name="activeSession" type="simpleActiveSession" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded"/>
    </xs:sequence>
    <xs:attribute name="noOfActiveSession" type="xs:int" use="required"/>
  </xs:complexType>

  <xs:complexType name="simpleActiveSession">
    <xs:sequence>
      <xs:element name="user_name" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="calling_station_id" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="nas_ip_address" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="acct_session_id" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="audit_session_id" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="server" type="xs:string" minOccurs="0"/>
    </xs:sequence>
  </xs:complexType>

```

```

    </xs:sequence>
  </xs:complexType>
</xs:schema>

```

## AuthList API コールの呼び出し



**(注)** API コールを発行するターゲット ノードが、有効なモニタリング ノードであることを確認します。Cisco ISE ノードのペルソナを確認するには、「[モニタリング ノードの確認](#)」(P.1-2) を参照してください。

**ステップ 1** ターゲット モニタリング ノードにログインします。

たとえば、ホスト名が **acme123** のモニタリング ノードに最初にログインすると、次の URL アドレス フィールドが表示されます。

```
https://acme123/admin/LoginAction.do#pageId=com_cisco_xmp_web_page_tmpdash
```

**ステップ 2** 「/admin/」 コンポーネントを API コールのコンポーネント (/ise/mnt/Session/<specific-api-call>) に置き換えて、ターゲット ノードの URL アドレス フィールドに AuthList API コールを入力します。



**(注)** 次の 2 つの例の 1 番目では、定義済みの開始時刻パラメータおよび **null** パラメータを使用し、指定した開始時刻以降に認証された現在アクティブなセッションのリストを表示します。2 番目の例は、現在アクティブなすべての認証済みセッションのリストを表示する「**null/null**」パラメータを使用します。この API コールに対する 4 種類のパラメータ設定の例については、「[AuthList API コール データ](#)」(P.2-8) を参照してください。

```
https://acme123/ise/mnt/Session/AuthList/2010-12-14 15:33:15/null
```

```
https://acme123/ise/mnt/Session/AuthList/null/null
```



**(注)** これらのコールは、大文字小文字を区別するため、ターゲット ノードの URL アドレス フィールドに慎重に各 API コールを入力する必要があります。API コール規則での「**mnt**」の使用は、ターゲット モニタリング ノードを表します。

**ステップ 3** Enter キーを押して API コールを発行します。

## AuthList API コール データ

### null/null オプションの使用

This XML file does not appear to have any style information associated with it. The document tree is shown below.

```

-
<activeSessionList noOfActiveSession="3">
-
  <activeSession>
    <user_name>ipepwluser</user_name>
    <calling_station_id>00:26:82:7B:D2:51</calling_station_id>
    <nas_ip_address>10.203.107.10</nas_ip_address>

```



```

<audit_session_id>0acb6b0c000000174D07F487</audit_session_id>
<server>HAREESH-R6-1-PDP2</server>
</activeSession>
-
<activeSession>
<user_name>tom_wolfe</user_name>
<calling_station_id>00:50:56:8E:28:BD</calling_station_id>
<nas_ip_address>10.203.107.161</nas_ip_address>
<acct_session_id>00000035</acct_session_id>
<server>HAREESH-R6-1-PDP2</server>
</activeSession>
-
<activeSession>
<user_name>graham_hancock</user_name>
<calling_station_id>00:14:BF:5A:0C:03</calling_station_id>
<nas_ip_address>10.203.107.161</nas_ip_address>
<acct_session_id>00000033</acct_session_id>
<server>HAREESH-R6-1-PDP2</server>
</activeSession>
</activeSessionList>

```

### endtime/null オプションの使用

This XML file does not appear to have any style information associated with it. The document tree is shown below.

```

-
<activeSessionList noOfActiveSession="3">
-
<activeSession>
<user_name>ipepwlouser</user_name>
<calling_station_id>00:26:82:7B:D2:51</calling_station_id>
<nas_ip_address>10.203.107.10</nas_ip_address>
<audit_session_id>0acb6b0c0000001F4D08085A</audit_session_id>
<server>HAREESH-R6-1-PDP2</server>
</activeSession>
-
<activeSession>
<user_name>hunter_thompson</user_name>
<calling_station_id>00:50:56:8E:28:BD</calling_station_id>
<nas_ip_address>10.203.107.161</nas_ip_address>
<acct_session_id>00000035</acct_session_id>
<server>HAREESH-R6-1-PDP2</server>
</activeSession>
-
<activeSession>
<user_name>bob_ludlum</user_name>
<calling_station_id>00:14:BF:5A:0C:03</calling_station_id>
<nas_ip_address>10.203.107.161</nas_ip_address>
<acct_session_id>00000033</acct_session_id>
<server>HAREESH-R6-1-PDP2</server>
</activeSession>
</activeSessionList>

```

### null/starttime オプションの使用

This XML file does not appear to have any style information associated with it. The document tree is shown below.

```

-
<activeSessionList noOfActiveSession="3">
-
<activeSession>
<user_name>ipepwlouser</user_name>

```

```

<calling_station_id>00:26:82:7B:D2:51</calling_station_id>
<nas_ip_address>10.203.107.10</nas_ip_address>
<audit_session_id>0acb6b0c0000001F4D08085A</audit_session_id>
<server>HAREESH-R6-1-PDP2</server>
</activeSession>
-
<activeSession>
<user_name>bob_ludlum</user_name>
<calling_station_id>00:50:56:8E:28:BD</calling_station_id>
<nas_ip_address>10.203.107.161</nas_ip_address>
<acct_session_id>00000035</acct_session_id>
<server>HAREESH-R6-1-PDP2</server>
</activeSession>
-
<activeSession>
<user_name>tom_wolfe</user_name>
<calling_station_id>00:14:BF:5A:0C:03</calling_station_id>
<nas_ip_address>10.203.107.161</nas_ip_address>
<acct_session_id>00000033</acct_session_id>
<server>HAREESH-R6-1-PDP2</server>
</activeSession>
</activeSessionList>

```

### starttime/endtime オプションの使用

This XML file does not appear to have any style information associated with it. The document tree is shown below.

```

-
<activeSessionList noOfActiveSession="3">
-
<activeSession>
<user_name>ipepwluser</user_name>
<calling_station_id>00:26:82:7B:D2:51</calling_station_id>
<nas_ip_address>10.203.107.10</nas_ip_address>
<audit_session_id>0acb6b0c0000001F4D08085A</audit_session_id>
<server>HAREESH-R6-1-PDP2</server>
</activeSession>
-
<activeSession>
<user_name>graham_hancock</user_name>
<calling_station_id>00:50:56:8E:28:BD</calling_station_id>
<nas_ip_address>10.203.107.161</nas_ip_address>
<acct_session_id>00000035</acct_session_id>
<server>HAREESH-R6-1-PDP2</server>
</activeSession>
-
<activeSession>
<user_name>hunter_thompson</user_name>
<calling_station_id>00:14:BF:5A:0C:03</calling_station_id>
<nas_ip_address>10.203.107.161</nas_ip_address>
<acct_session_id>00000033</acct_session_id>
<server>HAREESH-R6-1-PDP2</server>
</activeSession>
</activeSessionList>

```

## Session Attribute API コール

次の Session Attribute API コールによって、次のようなキー情報の最新のセッションをすぐに検索することができるようになります。

- MACAddress API コールを使用した MAC アドレス セッションの検索

- UserName API コールを使用したユーザ名セッションの検索
- IPAddress API コールを使用した NAS IP アドレス セッションの検索

## MACAddress API コールの使用方法

ターゲット モニタリング ノード上のアクティブなセッションから、指定した MAC アドレスを取得するには MACAddress API コールを使用します。ここでは、次の項目について説明します。

- 「[MACAddress API コールのスキーマ ファイル](#)」 (P.2-11)
- 「[MACAddress API コールの呼び出し](#)」 (P.2-13)
- 「[MACAddress API コール データ](#)」 (P.2-13)

## MACAddress API コールのスキーマ ファイル

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<xs:schema version="1.0" xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema">

  <xs:element name="sessionParameters" type="restsdStatus"/>

  <xs:complexType name="restsdStatus">
    <xs:sequence>
      <xs:element name="passed" type="xs:anyType" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="failed" type="xs:anyType" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="user_name" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="nas_ip_address" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="failure_reason" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="calling_station_id" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="nas_port" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="identity_group" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="network_device_name" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="acs_server" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="authen_protocol" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="framed_ip_address" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="network_device_groups" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="access_service" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="auth_acs_timestamp" type="xs:dateTime" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="authentication_method" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="execution_steps" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="radius_response" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="audit_session_id" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="nas_identifier" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="nas_port_id" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="nac_policy_compliance" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="auth_id" type="xs:long" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="auth_acsview_timestamp" type="xs:dateTime" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="message_code" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="acs_session_id" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="service_selection_policy" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="authorization_policy" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="identity_store" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="response" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="service_type" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="cts_security_group" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="use_case" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="cisco_av_pair" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="ad_domain" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="acs_username" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="radius_username" type="xs:string" minOccurs="0"/>
    

```

```

<xs:element name="nac_role" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="nac_username" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="nac_posture_token" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="nac_radius_is_user_auth" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="selected_posture_server" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="selected_identity_store" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="authentication_identity_store" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="azn_exp_pol_matched_rule" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="ext_pol_server_matched_rule" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="grp_mapping_pol_matched_rule" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="identity_policy_matched_rule" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="nas_port_type" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="query_identity_stores" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="selected_azn_profiles" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="sel_exp_azn_profiles" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="selected_query_identity_stores" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="eap_tunnel" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="tunnel_details" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="cisco_h323_attributes" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="cisco_ssg_attributes" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="other_attributes" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="response_time" type="xs:long" minOccurs="0"/>
<xs:element name="nad_failure" type="xs:anyType" minOccurs="0"/>
<xs:element name="destination_ip_address" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_id" type="xs:long" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_acs_timestamp" type="xs:dateTime" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_acsview_timestamp" type="xs:dateTime" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_session_id" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_status_type" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_session_time" type="xs:long" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_input_octets" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_output_octets" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_input_packets" type="xs:long" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_output_packets" type="xs:long" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_class" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_terminate_cause" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_multi_session_id" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_authentic" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="termination_action" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="session_timeout" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="idle_timeout" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_interim_interval" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_delay_time" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="event_timestamp" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_tunnel_connection" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_tunnel_packet_lost" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="security_group" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="cisco_h323_setup_time" type="xs:dateTime" minOccurs="0"/>
<xs:element name="cisco_h323_connect_time" type="xs:dateTime" minOccurs="0"/>
<xs:element name="cisco_h323_disconnect_time" type="xs:dateTime" minOccurs="0"/>
<xs:element name="framed_protocol" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="started" type="xs:anyType" minOccurs="0"/>
<xs:element name="stopped" type="xs:anyType" minOccurs="0"/>
<xs:element name="ckpt_id" type="xs:long" minOccurs="0"/>
<xs:element name="type" type="xs:long" minOccurs="0"/>
<xs:element name="nad_acsview_timestamp" type="xs:dateTime" minOccurs="0"/>
<xs:element name="vlan" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="dacl" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="authentication_type" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="interface_name" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="reason" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="endpoint_policy" type="xs:string" minOccurs="0"/>
</xs:sequence>
</xs:complexType>

```

```
</xs:schema>
```

## MACAddress API コールの呼び出し



(注) API コールを発行するターゲット ノードが、有効なモニタリング ノードであることを確認します。Cisco ISE ノードのペルソナを確認するには、「[モニタリング ノードの確認](#)」(P.1-2) を参照してください。

**ステップ 1** ターゲット モニタリング ノードにログインします。

たとえば、ホスト名が `acme123` のモニタリング ノードに最初にログインすると、次の URL アドレスフィールドが表示されます。

```
https://acme123/admin/LoginAction.do#pageId=com_cisco_xmp_web_page_tmpdash
```

**ステップ 2** 「/admin/」コンポーネントを API コールのコンポーネント

(`/ise/mnt/Session/<specific-api-call>/<macaddress>`) に置き換えて、ターゲット ノードの URL アドレスフィールドに MACAddress API コールを入力します。

```
https://acme123/ise/mnt/Session/MACAddress/0A:0B:0C:0D:0E:0F
```



(注) `XX:XX:XX:XX:XX:XX` 形式を使用して MAC アドレスを指定していることを確認します。



(注) これらのコールは、大文字小文字を区別するため、ターゲット ノードの URL アドレスフィールドに慎重に各 API コールを入力する必要があります。API コール規則での「mnt」の使用は、ターゲット モニタリング ノードを表します。

**ステップ 3** Enter キーを押して API コールを発行します。



(注) この API コールは、直近の 5 日の間に作成されたセッション データだけを返します。

## MACAddress API コール データ

This XML file does not appear to have any style information associated with it. The document tree is shown below.

```
-
<sessionParameters>
<passed xsi:type="xs:boolean">true</passed>
<failed xsi:type="xs:boolean">false</failed>
<user_name>hunter_thompson</user_name>
<nas_ip_address>10.203.107.161</nas_ip_address>
<calling_station_id>00:14:BF:5A:0C:03</calling_station_id>
<nas_port>50115</nas_port>
<identity_group>Profiled</identity_group>
<network_device_name>Core-Switch</network_device_name>
<acs_server>HAREESH-R6-1-PDP2</acs_server>
<authn_protocol>Lookup</authn_protocol>
```

```

-
<network_device_groups>
Device Type#All Device Types,Location#All Locations
</network_device_groups>
<access_service>RADIUS</access_service>
<auth_acs_timestamp>2010-12-15T02:11:12.359Z</auth_acs_timestamp>
<authentication_method>mab</authentication_method>
-
<execution_steps>
11001,11017,11027,15008,15048,15004,15041,15004,15013,24209,24211,22037,15036,15048,15048,
15004,15016,11022,11002
</execution_steps>
<audit_session_id>0ACB6BA1000000351BBFBF8B</audit_session_id>
<nas_port_id>GigabitEthernet1/0/15</nas_port_id>
<nac_policy_compliance>Pending</nac_policy_compliance>
<auth_id>1291240762077361</auth_id>
<auth_acsview_timestamp>2010-12-15T02:11:12.360Z</auth_acsview_timestamp>
<message_code>5200</message_code>
<acs_session_id>HAREESH-R6-1-PDP2/81148292/681</acs_session_id>
<service_selection_policy>MAB</service_selection_policy>
<identity_store>Internal Hosts</identity_store>
-
<response>
{UserName=00-14-BF-5A-0C-03; User-Name=00-14-BF-5A-0C-03;
State=ReauthSession:0ACB6BA1000000351BBFBF8B;
Class=CACS:0ACB6BA1000000351BBFBF8B:HAREESH-R6-1-PDP2/81148292/681;
Termination-Action=RADIUS-Request; cisco-av-pair=url-redirect-acl=ACL-WEBAUTH-REDIRECT;
cisco-av-pair=url-redirect=https://HAREESH-R6-1-PDP2.cisco.com:8443/guestportal/gateway?se
ssionId=0ACB6BA1000000351BBFBF8B&action=cwa;
cisco-av-pair=ACS:CiscoSecure-Defined-ACL=#ACSACL#-IP-ACL-DENY-4ced8390; }
</response>
<service_type>Call Check</service_type>
<use_case>Host Lookup</use_case>
<cisco_av_pair>audit-session-id=0ACB6BA1000000351BBFBF8B</cisco_av_pair>
<acs_username>00:14:BF:5A:0C:03</acs_username>
<radius_username>00:14:BF:5A:0C:03</radius_username>
<selected_identity_store>Internal Hosts</selected_identity_store>
<authentication_identity_store>Internal Hosts</authentication_identity_store>
<identity_policy_matched_rule>Default</identity_policy_matched_rule>
<nas_port_type>Ethernet</nas_port_type>
<selected_azn_profiles>CWA</selected_azn_profiles>
-
<other_attributes>
ConfigVersionId=44, DestinationIPAddress=10.203.107.162, DestinationPort=1812, Protocol=Radiu
s, Framed-MTU=1500, EAP-Key-Name=, CPMSessionID=0ACB6BA1000000351BBFBF8B, CPMSessionID=0ACB6BA
1000000351BBFBF8B, EndPointMACAddress=00-14-BF-5A-0C-03, HostIdentityGroup=Endpoint Identity
Groups:Profiled, Device Type=Device Type#All Device Types, Location=Location#All
Locations, Model Name=Unknown, Software Version=Unknown, Device IP
Address=10.203.107.161, Called-Station-ID=04:FE:7F:7F:C0:8F
</other_attributes>
<response_time>77</response_time>
<acct_id>1291240762077386</acct_id>
<acct_acs_timestamp>2010-12-15T02:12:30.779Z</acct_acs_timestamp>
<acct_acsview_timestamp>2010-12-15T02:12:30.780Z</acct_acsview_timestamp>
<acct_session_id>00000038</acct_session_id>
<acct_status_type>Interim-Update</acct_status_type>
<acct_session_time>78</acct_session_time>
<acct_input_octets>13742</acct_input_octets>
<acct_output_octets>6277</acct_output_octets>
<acct_input_packets>108</acct_input_packets>
<acct_output_packets>66</acct_output_packets>
-
<acct_class>
CACS:0ACB6BA1000000351BBFBF8B:HAREESH-R6-1-PDP2/81148292/681

```

```

</acct_class>
<acct_delay_time>0</acct_delay_time>
<started xsi:type="xs:boolean">false</started>
<stopped xsi:type="xs:boolean">false</stopped>
</sessionParameters>

```

## UserName API コールの使用方法

アクティブなセッションから、指定したユーザ名を取得するには UserName API コールを使用します。ここでは、次の項目について説明します。

- 「UserName API コールのスキーマ ファイル」 (P.2-15)
- 「UserName API コールの呼び出し」 (P.2-17)
- 「UserName API コール データ」 (P.2-17)

## UserName API コールのスキーマ ファイル

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<xs:schema version="1.0" xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema">

  <xs:element name="sessionParameters" type="restsdStatus"/>

  <xs:complexType name="restsdStatus">
    <xs:sequence>
      <xs:element name="passed" type="xs:anyType" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="failed" type="xs:anyType" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="user_name" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="nas_ip_address" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="failure_reason" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="calling_station_id" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="nas_port" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="identity_group" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="network_device_name" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="acs_server" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="authn_protocol" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="framed_ip_address" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="network_device_groups" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="access_service" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="auth_acs_timestamp" type="xs:dateTime" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="authentication_method" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="execution_steps" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="radius_response" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="audit_session_id" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="nas_identifier" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="nas_port_id" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="nac_policy_compliance" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="auth_id" type="xs:long" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="auth_acsview_timestamp" type="xs:dateTime" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="message_code" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="acs_session_id" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="service_selection_policy" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="authorization_policy" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="identity_store" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="response" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="service_type" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="cts_security_group" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="use_case" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="cisco_av_pair" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="ad_domain" type="xs:string" minOccurs="0"/>
    </xs:sequence>
  </xs:complexType>

```

```

<xs:element name="acs_username" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="radius_username" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="nac_role" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="nac_username" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="nac_posture_token" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="nac_radius_is_user_auth" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="selected_posture_server" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="selected_identity_store" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="authentication_identity_store" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="azn_exp_pol_matched_rule" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="ext_pol_server_matched_rule" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="grp_mapping_pol_matched_rule" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="identity_policy_matched_rule" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="nas_port_type" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="query_identity_stores" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="selected_azn_profiles" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="sel_exp_azn_profiles" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="selected_query_identity_stores" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="eap_tunnel" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="tunnel_details" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="cisco_h323_attributes" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="cisco_ssg_attributes" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="other_attributes" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="response_time" type="xs:long" minOccurs="0"/>
<xs:element name="nad_failure" type="xs:anyType" minOccurs="0"/>
<xs:element name="destination_ip_address" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_id" type="xs:long" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_acs_timestamp" type="xs:dateTime" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_acsview_timestamp" type="xs:dateTime" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_session_id" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_status_type" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_session_time" type="xs:long" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_input_octets" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_output_octets" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_input_packets" type="xs:long" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_output_packets" type="xs:long" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_class" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_terminate_cause" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_multi_session_id" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_authentic" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="termination_action" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="session_timeout" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="idle_timeout" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_interim_interval" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_delay_time" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="event_timestamp" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_tunnel_connection" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_tunnel_packet_lost" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="security_group" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="cisco_h323_setup_time" type="xs:dateTime" minOccurs="0"/>
<xs:element name="cisco_h323_connect_time" type="xs:dateTime" minOccurs="0"/>
<xs:element name="cisco_h323_disconnect_time" type="xs:dateTime" minOccurs="0"/>
<xs:element name="framed_protocol" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="started" type="xs:anyType" minOccurs="0"/>
<xs:element name="stopped" type="xs:anyType" minOccurs="0"/>
<xs:element name="ckpt_id" type="xs:long" minOccurs="0"/>
<xs:element name="type" type="xs:long" minOccurs="0"/>
<xs:element name="nad_acsview_timestamp" type="xs:dateTime" minOccurs="0"/>
<xs:element name="vlan" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="dacl" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="authentication_type" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="interface_name" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="reason" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="endpoint_policy" type="xs:string" minOccurs="0"/>

```



```

    </xs:sequence>
  </xs:complexType>
</xs:schema>

```

## UserName API コールの呼び出し



(注)

API コールを発行するターゲット ノードが、有効なモニタリング ノードであることを確認します。Cisco ISE ノードのペルソナを確認するには、「[モニタリング ノードの確認](#)」(P.1-2) を参照してください。

### ステップ 1

ターゲット モニタリング ノードにログインします。

たとえば、ホスト名が `acme123` のモニタリング ノードに最初にログインすると、次の URL アドレス フィールドが表示されます。

```
https://acme123/admin/LoginAction.do#pageId=com_cisco_xmp_web_page_tmpdash
```

### ステップ 2

「/admin/」コンポーネントを API コールのコンポーネント (`/ise/mnt/Session/<specific-api-call>/<username>`) に置き換えて、ターゲット ノードの URL アドレス フィールドに `UserName` API コールを入力します。

```
https://acme123/ise/mnt/Session/UserName/graham_hancock
```



(注)

これらのコールは、大文字小文字を区別するため、ターゲット ノードの URL アドレス フィールドに慎重に各 API コールを入力する必要があります。API コール規則での「mnt」の使用は、ターゲット モニタリング ノードを表します。

### ステップ 3

Enter キーを押して API コールを発行します。

## UserName API コール データ

This XML file does not appear to have any style information associated with it. The document tree is shown below.

```

-
<sessionParameters>
<passed xsi:type="xs:boolean">true</passed>
<failed xsi:type="xs:boolean">false</failed>
<user_name>graham_hancock</user_name>
<nas_ip_address>10.203.107.161</nas_ip_address>
<calling_station_id>00:14:BF:5A:0C:03</calling_station_id>
<nas_port>50115</nas_port>
<identity_group>Profiled</identity_group>
<network_device_name>Core-Switch</network_device_name>
<acs_server>HAREESH-R6-1-PDP2</acs_server>
<authn_protocol>Lookup</authn_protocol>
-
<network_device_groups>
Device Type#All Device Types,Location#All Locations
</network_device_groups>
<access_service>RADIUS</access_service>
<auth_acs_timestamp>2010-12-15T02:11:12.359Z</auth_acs_timestamp>
<authentication_method>mab</authentication_method>
-

```

```

<execution_steps>
11001,11017,11027,15008,15048,15004,15041,15004,15013,24209,24211,22037,15036,15048,15048,
15004,15016,11022,11002
</execution_steps>
<audit_session_id>0ACB6BA1000000351BBFBF8B</audit_session_id>
<nas_port_id>GigabitEthernet1/0/15</nas_port_id>
<nac_policy_compliance>Pending</nac_policy_compliance>
<auth_id>1291240762077361</auth_id>
<auth_acsview_timestamp>2010-12-15T02:11:12.360Z</auth_acsview_timestamp>
<message_code>5200</message_code>
<acs_session_id>HAREESH-R6-1-PDP2/81148292/681</acs_session_id>
<service_selection_policy>MAB</service_selection_policy>
<identity_store>Internal Hosts</identity_store>
-
<response>
{UserName=graham_hancock; User-Name=graham_hancock;
State=ReauthSession:0ACB6BA1000000351BBFBF8B;
Class=CACS:0ACB6BA1000000351BBFBF8B:HAREESH-R6-1-PDP2/81148292/681;
Termination-Action=RADIUS-Request; cisco-av-pair=url-redirect-acl=ACL-WEBAUTH-REDIRECT;
cisco-av-pair=url-redirect=https://HAREESH-R6-1-PDP2.cisco.com:8443/guestportal/gateway?se
ssionId=0ACB6BA1000000351BBFBF8B&action=cwa;
cisco-av-pair=ACS:CiscoSecure-Defined-ACL=#ACSACL#-IP-ACL-DENY-4ced8390; }
</response>
<service_type>Call Check</service_type>
<use_case>Host Lookup</use_case>
<cisco_av_pair>audit-session-id=0ACB6BA1000000351BBFBF8B</cisco_av_pair>
<acs_username>graham_hancock</acs_username>
<radius_username>00:14:BF:5A:0C:03</radius_username>
<selected_identity_store>Internal Hosts</selected_identity_store>
<authentication_identity_store>Internal Hosts</authentication_identity_store>
<identity_policy_matched_rule>Default</identity_policy_matched_rule>
<nas_port_type>Ethernet</nas_port_type>
<selected_azn_profiles>CWA</selected_azn_profiles>
-
<other_attributes>
ConfigVersionId=44, DestinationIpAddress=10.203.107.162, DestinationPort=1812, Protocol=Radiu
s, Framed-MTU=1500, EAP-Key-Name=, CPMSessionID=0ACB6BA1000000351BBFBF8B, CPMSessionID=0ACB6BA
1000000351BBFBF8B, EndPointMACAddress=00-14-BF-5A-0C-03, HostIdentityGroup=Endpoint Identity
Groups:Profiled, Device Type=Device Type#All Device Types, Location=Location#All
Locations, Model Name=Unknown, Software Version=Unknown, Device IP
Address=10.203.107.161, Called-Station-ID=04:FE:7F:7F:C0:8F
</other_attributes>
<response_time>77</response_time>
<acct_id>1291240762077386</acct_id>
<acct_acs_timestamp>2010-12-15T02:12:30.779Z</acct_acs_timestamp>
<acct_acsview_timestamp>2010-12-15T02:12:30.780Z</acct_acsview_timestamp>
<acct_session_id>00000038</acct_session_id>
<acct_status_type>Interim-Update</acct_status_type>
<acct_session_time>78</acct_session_time>
<acct_input_octets>13742</acct_input_octets>
<acct_output_octets>6277</acct_output_octets>
<acct_input_packets>108</acct_input_packets>
<acct_output_packets>66</acct_output_packets>
-
<acct_class>
CACS:0ACB6BA1000000351BBFBF8B:HAREESH-R6-1-PDP2/81148292/681
</acct_class>
<acct_delay_time>0</acct_delay_time>
<started xsi:type="xs:boolean">false</started>
<stopped xsi:type="xs:boolean">false</stopped>
</sessionParameters>

```

## IPAddress API コールの使用方法

指定したネットワーク アクセス サーバ (NAS) の IP アドレスのデータを現在のセッションから取得するには IPAddress API コールを使用します。ここでは、次の項目について説明します。

- 「[IPAddress API コールのスキーマ ファイル](#)」 (P.2-19)
- 「[IPAddress API コールの呼び出し](#)」 (P.2-21)
- 「[IPAddress API コール データ](#)」 (P.2-21)

### IPAddress API コールのスキーマ ファイル

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<xs:schema version="1.0" xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema">

  <xs:element name="sessionParameters" type="restsdStatus"/>

  <xs:complexType name="restsdStatus">
    <xs:sequence>
      <xs:element name="passed" type="xs:anyType" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="failed" type="xs:anyType" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="user_name" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="nas_ip_address" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="failure_reason" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="calling_station_id" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="nas_port" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="identity_group" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="network_device_name" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="acs_server" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="authn_protocol" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="framed_ip_address" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="network_device_groups" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="access_service" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="auth_acs_timestamp" type="xs:dateTime" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="authentication_method" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="execution_steps" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="radius_response" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="audit_session_id" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="nas_identifier" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="nas_port_id" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="nac_policy_compliance" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="auth_id" type="xs:long" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="auth_acsview_timestamp" type="xs:dateTime" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="message_code" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="acs_session_id" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="service_selection_policy" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="authorization_policy" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="identity_store" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="response" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="service_type" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="cts_security_group" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="use_case" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="cisco_av_pair" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="ad_domain" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="acs_username" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="radius_username" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="nac_role" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="nac_username" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="nac_posture_token" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="nac_radius_is_user_auth" type="xs:string" minOccurs="0"/>
      <xs:element name="selected_posture_server" type="xs:string" minOccurs="0"/>
    
```

```

<xs:element name="selected_identity_store" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="authentication_identity_store" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="azn_exp_pol_matched_rule" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="ext_pol_server_matched_rule" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="grp_mapping_pol_matched_rule" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="identity_policy_matched_rule" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="nas_port_type" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="query_identity_stores" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="selected_azn_profiles" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="sel_exp_azn_profiles" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="selected_query_identity_stores" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="eap_tunnel" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="tunnel_details" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="cisco_h323_attributes" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="cisco_ssg_attributes" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="other_attributes" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="response_time" type="xs:long" minOccurs="0"/>
<xs:element name="nad_failure" type="xs:anyType" minOccurs="0"/>
<xs:element name="destination_ip_address" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_id" type="xs:long" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_acs_timestamp" type="xs:dateTime" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_acsview_timestamp" type="xs:dateTime" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_session_id" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_status_type" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_session_time" type="xs:long" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_input_octets" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_output_octets" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_input_packets" type="xs:long" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_output_packets" type="xs:long" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_class" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_terminate_cause" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_multi_session_id" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_authentic" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="termination_action" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="session_timeout" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="idle_timeout" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_interim_interval" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_delay_time" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="event_timestamp" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_tunnel_connection" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="acct_tunnel_packet_lost" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="security_group" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="cisco_h323_setup_time" type="xs:dateTime" minOccurs="0"/>
<xs:element name="cisco_h323_connect_time" type="xs:dateTime" minOccurs="0"/>
<xs:element name="cisco_h323_disconnect_time" type="xs:dateTime" minOccurs="0"/>
<xs:element name="framed_protocol" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="started" type="xs:anyType" minOccurs="0"/>
<xs:element name="stopped" type="xs:anyType" minOccurs="0"/>
<xs:element name="ckpt_id" type="xs:long" minOccurs="0"/>
<xs:element name="type" type="xs:long" minOccurs="0"/>
<xs:element name="nad_acsview_timestamp" type="xs:dateTime" minOccurs="0"/>
<xs:element name="vlan" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="dacl" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="authentication_type" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="interface_name" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="reason" type="xs:string" minOccurs="0"/>
<xs:element name="endpoint_policy" type="xs:string" minOccurs="0"/>
</xs:sequence>
</xs:complexType>
</xs:schema>

```

## IPAddress API コールの呼び出し



(注) API コールを発行するターゲット ノードが、有効なモニタリング ノードであることを確認します。Cisco ISE ノードのペルソナを確認するには、「[モニタリング ノードの確認](#)」(P.1-2) を参照してください。

**ステップ 1** ターゲット モニタリング ノードにログインします。  
たとえば、ホスト名が `acme123` のモニタリング ノードに最初にログインすると、次の URL アドレス フィールドが表示されます。

```
https://acme123/admin/LoginAction.do#pageId=com_cisco_xmp_web_page_tmpdash
```

**ステップ 2** 「/admin/」コンポーネントを API コールのコンポーネント (`/ise/mnt/Session/<specific-api-call>/<nasipaddress>`) に置き換えて、ターゲット ノードの URL アドレス フィールドに IPAddress API コールを入力します。

```
https://acme123/ise/mnt/Session/IpAddress/10.10.10.10
```



(注) `xxx.xxx.xxx.xxx` の形式を使用して NAS IP アドレスを指定していることを確認します。



(注) これらのコールは、大文字小文字を区別するため、ターゲット ノードの URL アドレス フィールドに慎重に各 API コールを入力する必要があります。API コール規則での「mnt」の使用は、ターゲット モニタリング ノードを表します。

**ステップ 3** Enter キーを押して API コールを発行します。



(注) この API コールは、直近の 5 日の間に作成されたセッション データだけを返します。

## IPAddress API コール データ

This XML file does not appear to have any style information associated with it. The document tree is shown below.

```
-
<sessionParameters>
<passed xsi:type="xs:boolean">true</passed>
<failed xsi:type="xs:boolean">false</failed>
<user_name>ipepvpnuser</user_name>
<nas_ip_address>10.10.10.10</nas_ip_address>
<calling_station_id>172.23.130.90</calling_station_id>
<nas_port>1015</nas_port>
<identity_group>iPEP-VPN-Group</identity_group>
<network_device_name>iPEP-HA-Routed</network_device_name>
<acs_server>HAREESH-R6-1-PDP2</acs_server>
<authen_protocol>PAP_ASCII</authen_protocol>
-
<network_device_groups>
Device Type#All Device Types,Location#All Locations
</network_device_groups>
<access_service>RADIUS</access_service>
```

```

<auth_acs_timestamp>2010-12-15T19:57:29.885Z</auth_acs_timestamp>
<authentication_method>PAP_ASCII</authentication_method>
-
<execution_steps>
11001,11017,15008,15048,15048,15004,15041,15004,15013,24210,24212,22037,15036,15048,15048,
15004,15016,11002
</execution_steps>
<audit_session_id>0acb6be4000000044D091DA9</audit_session_id>
<nac_policy_compliance>NotApplicable</nac_policy_compliance>
<auth_id>1291240762083580</auth_id>
<auth_acsview_timestamp>2010-12-15T19:57:29.887Z</auth_acsview_timestamp>
<message_code>5200</message_code>
<acs_session_id>HAREESH-R6-1-PDP2/81148292/693</acs_session_id>
<service_selection_policy>iPEP-VPN</service_selection_policy>
<identity_store>Internal Users</identity_store>
-
<response>
{User-Name=ipepvpnuser; State=ReauthSession:0acb6be4000000044D091DA9;
Class=CACS:0acb6be4000000044D091DA9:HAREESH-R6-1-PDP2/81148292/693;
Termination-Action=RADIUS-Request; }
</response>
<service_type>Framed</service_type>
-
<cisco_av_pair>
audit-session-id=0acb6be4000000044D091DA9,ipep-proxy=true
</cisco_av_pair>
<acs_username>ipepvpnuser</acs_username>
<radius_username>ipepvpnuser</radius_username>
<selected_identity_store>Internal Users</selected_identity_store>
<authentication_identity_store>Internal Users</authentication_identity_store>
<identity_policy_matched_rule>Default</identity_policy_matched_rule>
<nas_port_type>Virtual</nas_port_type>
<selected_azn_profiles>iPEP-Unknown-Auth-Profile</selected_azn_profiles>
<tunnel_details>Tunnel-Client-Endpoint=(tag=0) 172.23.130.90</tunnel_details>
-
<other_attributes>
ConfigVersionId=44, DestinationIPAddress=10.203.107.162, DestinationPort=1812, Protocol=Radius,
Framed-Protocol=PPP, Proxy-State=Cisco Secure
ACS9e733142-070a-11e0-c000-000000000000-2906094480-3222, CPMSessionID=0acb6be4000000044D091
DA9, CPMSessionID=0acb6be4000000044D091DA9, Device Type=Device Type#All Device
Types, Location=Location#All Locations, Model Name=Unknown, Software Version=Unknown, Device
IP Address=10.203.107.228, Called-Station-ID=172.23.130.94
</other_attributes>
<response_time>20</response_time>
<acct_id>1291240762083582</acct_id>
<acct_acs_timestamp>2010-12-15T19:57:30.281Z</acct_acs_timestamp>
<acct_acsview_timestamp>2010-12-15T19:57:30.283Z</acct_acsview_timestamp>
<acct_session_id>F1800007</acct_session_id>
<acct_status_type>Start</acct_status_type>
-
<acct_class>
CACS:0acb6be4000000044D091DA9:HAREESH-R6-1-PDP2/81148292/693
</acct_class>
<acct_delay_time>0</acct_delay_time>
<framed_protocol>PPP</framed_protocol>
<started xsi:type="xs:boolean">true</started>
<stopped xsi:type="xs:boolean">false</stopped>
</sessionParameters>

```

## 古いセッションの削除

一部のデバイスでは、ワイヤレス LAN コントローラ (WLC) など、古いセッションを保持できるようにする場合があります。このような場合、手動で非アクティブなセッションを削除するには、HTTP **DELETE** API コールを使用します。これを行うには、次の手順に示すように、URL (HTTP、HTTPS) 構文のデータを転送するための無償のサードパーティ製のコマンドライン ツールである cURL を使用します。

Cisco ISE は、古いセッションを追跡しなくなりました。これは、Cisco ISE がネットワークへの接続を長時間にわたって失い、WLC またはネットワーク アクセス デバイス (NAD) のアカウントリングを停止し損なう場合を軽減するためです。HTTP **DELETE** API コールを使用して、Cisco ISE からこのような古い情報をクリアすることができます。



(注) HTTP および HTTPS を使用してファイルを取得するための無償ユーティリティである GNU Wget は、HTTP **DELETE** API コールをサポートしません。

**ステップ 1** コマンドラインからターゲット モニタリング ノードにログインします。



(注) API コールは大文字と小文字が区別され、慎重に入力する必要があります。変数 <mntnode> はターゲット モニタリング ノードを表します。

**ステップ 2** 手動で MAC アドレスの古いセッションを削除するには、コマンドラインで次の API コールを発行します。

```
curl -X DELETE https://<mntnode>/ise/mnt/Session/Delete/MACAddress/<macaddress>
```

**ステップ 3** 手動でセッション ID の古いセッションを削除するには、コマンドラインで次の API コールを発行します。

```
curl -X DELETE https://<mntnode>/ise/mnt/Session/Delete/SessionID/<sid#>
```

**ステップ 4** 手動でモニタリング ノードのすべてのセッションを削除するには、コマンドラインで次の API コールを発行します。

```
curl -X DELETE https://<mntnode>/ise/mnt/Session/Delete/All
```

